
神殺しの旅

かぐにゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

神殺しの旅

【Nコード】

N7640L

【作者名】

かぐにゃん

【あらすじ】

ある日少女、アリスは親とケンカをして家出をする。そして偶然迷い込んでしまった嘆きの森で悪鬼神に襲われる。絶体絶命の状態で助けてくれたのは、神殺しの異名を持つ少年ベガ。偶然の出会いから始まる二人の旅。今神殺しの旅が始まる。

(前書き)

文才ないですががんばります。

神 それは世界を作りし者、故に宗教の象徴とされたりする。
多くの者は神は存在しないと思っているが、本当は存在している。
しかし神とはいえ全てが正義とは限らない。

時として世界を作った偉大な神々は世界を滅ぼすこともある。
そのように世界を滅ぼそうとしている神々のことを悪鬼神という。
そして二人の少年と少女の悪鬼神を倒す旅が今始まる。

深夜 嘆きの森中央付近

「はっはは・・・!!」一人の少女が走っていた。

「ぐわおおお!!」獣が咆えるような声、少女を追って迫る。

「はっは！もう・・・最悪・・・！」息を切らしながら走る少女。

「ぐわおおお!!」獣が咆え、少女の体ほどの太さのある腕を振って来た。

「きゃっ！」少女は咄嗟に防御をしたものの、衝撃を堪えられず樹にぶつかってしまふ。

「グツオオオ!!!!」獣は少女に飛び掛り、食いちぎろうとする。

「あっ・・・」少女は動くことが出来ない、脚はさっきの衝撃で麻痺してしまい、腕も折れてしまってる

（私は死ぬのかな？）少女は今までの短い生涯を走馬灯のように思い出し。

（さようならパパ、ママ）ゆっくりと目を閉じた。

その時！

「グオオオ！！」すごい衝撃とともに獣が吹き飛ばされる。

さらに、炎がどこからとも無く生まれ獣に襲い掛かる。

「い、いったい、何が、どうなって！！」少女はいきなりの事態についていけなくなっていた。

そこへ

「無事か！」一人の少年が現れた、年は自分と同じくらいだろうか？どうやら助けてくれたらしい。

「え？あ、はい」少女は反射的に答え、少年は安堵したように息を吐く。

「少しここにいてくれ、すぐにカタをつけるから」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7640/>

神殺しの旅

2010年10月9日16時54分発行